

大雨・台風 襲来!

その時、あなたが取るべき行動は?

今年も大雨や台風が心配な季節になりました。もしものときに慌てないよう、日頃の備えや確認が大切です。大雨や台風が来る前に確認しておきたいポイントを紹介します。

問い合わせ 危機管理課 (☎35-0923)



危険な場所・避難場所を把握しよう

ハザードマップとは、自然災害によって起こり得る危険な場所を示した地図です。命を守るため、危険を“事前に”知っておきましょう。平時からハザードマップで避難場所や避難経路を確認しておきましょう。また、自宅や親せき宅などの在宅避難を含む避難先を決めておきましょう。市が指定する避難所は、防災ガイドブックを確認ください。

ハザードマップは
あなたの命を守る**地図**です!
危険な場所を事前に把握しておこう!

ハザードマップ



防災ガイドブック



※菊川市防災ハザードマップ・防災ガイドブックは、市ホームページ(上記)または危機管理課窓口、小笠市民課窓口(小笠支所)で配布しています。



住んでいる所やよく行く所などに色付きの場所はありますか?



家庭でできる対策を覚えよう

大雨の際に家庭でできる具体的な対策を紹介します。被害を最小限に抑えるため、準備と対策を進めましょう。

簡易水のう

大雨や台風による浸水・逆流を防ぐには、家庭用ゴミ袋と水で作る「簡易水のう」が有効です。



40ℓ程度のごみ袋を二重にする。
※破れそうであれば枚数を増やす。



袋の中に半分くらい水を入れる。



袋の口をしっかりと縛って完成。

出入り口の前に隙間なく設置すると水の侵入を防ぐことができます!



止水板



玄関やガレージの出入り口に止水板を設置しましょう。出入り口の長さの板と、板が動かないように重りを置くと効果的です。

お風呂の水を貯めよう

大雨などで雨量が多いときには、河川への流入を防ぐため、風呂の水を抜かず貯めたままにしましょう。貯めたままにし、貯水池として活用することで、市全体世帯数(およそ1万9千世帯)の風呂で計算すると、およそ380万ℓ(25mプール8面分)を貯水できます。

